

【ラグでお部屋に彩を】

今年も様々な色、柄、素材のユニークなラグがたくさん登場しています。パッと敷くだけでお部屋の雰囲気を変えてくれる便利なラグを、さっそく取り入れてみましょう。

お部屋の全面に敷きつめるのが基本で、リニューアルにも大掛かりな模様替えが必要なカーペットの代わりに、このところ人気を集めているのが、コンパクトな敷物「ラグ」です。およそ3畳未満と気軽に取り入れられるサイズのものを中心に、素材も色も豊富に展開されています。

【お部屋や利用シーンに合わせた選び方】

ラグは、そのお部屋で何をするのか、どんな人が利用するのかなどによって使い分けます。例えば裸足でラグに触れる機会の多い寝室には、足触りがよく保温性のあるものを選ぶと良いでしょう。広めのLDKならば、リビングとして利用するエリアとダイニングテーブルの周りでラグを変えることで、空間に変化を持たせることができます。ダイニングでは汚れにくい素材を、またリビングでは、子供が寝転がったり、ソファに座った時に足先が触れることを考え、柔らかくくつろげる素材を選びましょう。



【おしゃれにみせるテクニック】

家具と合わせてラグをコーディネートするときのコツは、家具のサイズとのバランスを合わせることに。例えばソファなら、サイズをソファの横幅〜少し大きめにすると綺麗に収まります。ラグの上にさらに別のラグを敷く「重ね敷き」は上級者向けテクニック。大胆に重ねて色の濃淡、柄の違いなどで遊びましょう。



▼家具組み合わせ

ソファの横幅と同じか少し大きいくらいがちょうどよいサイズです。



▼重ね敷き

ユニークな色や素材のラグをベーシックなラグに重ねて。

【お部屋を広くみせるラグのサイズは?】

ラグは、床面の素材を見せながら、バランスよく部分的に配置しましょう。床を覆いつくすような敷き方をすると、見た目が窮屈になり、狭く感じます。床面をバランスよく見せるのがラグです。



きれいを保つラグのお手入れ方法
基本はこまめな掃除機かけ。
水ぶきでさらに美しく

ラグの汚れのほとんどホコリなので、こまめに掃除機をかけることで清潔に保てます。毛足に逆らって掃除機をかけると効果的。お掃除の時はラグの下も忘れずに。また、月1〜2回は、水拭きすることで、いつまでも美しい毛足が維持できます。シミができてしまった時は、早めに吸水性の良い乾いた布でたたくようにして拭き取りましょう。

ラグはお部屋をぐっと素敵に見せるインテリアのスパイスです!
我が家にぴったりのコーディネートを見つけましょう。

TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp